

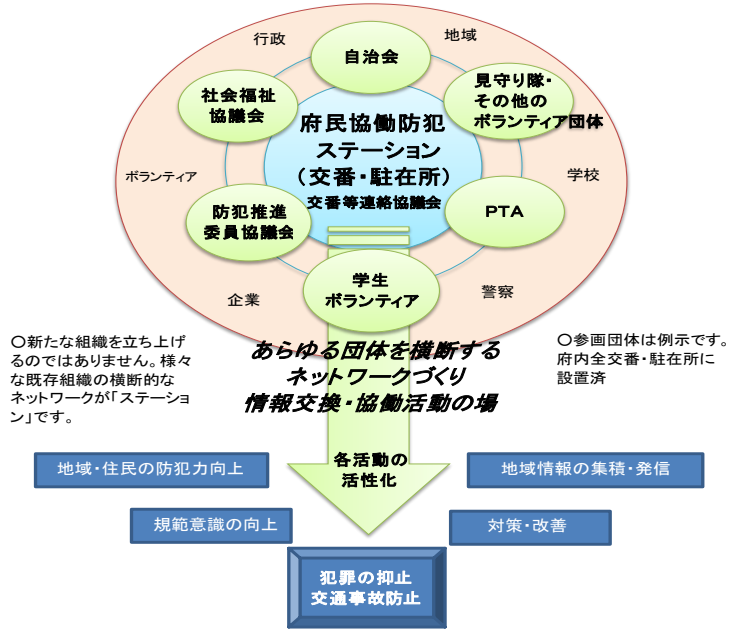
府民協働防犯ステーション

～地域住民の連携で安心・安全についての課題解決～

1 組織づくり

京都府並びに京都府警察では、府民の皆さんとともに犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めるため、地域の安心・安全に関わる様々な団体が、交番・駐在所等を核に、警察・行政と連携し、地域の実情に応じた防犯活動に取り組む組織「京都府府民協働防犯ステーション」を府内全ての交番・駐在所に設置しています。

防犯をはじめ、交通安全、防災など、地域の安心安全についての課題解決に取り組めるよう、自治会、子ども見守り隊、防犯推進委員、自主防災会など、地域の様々な団体が参画した連携組織を交番・駐在所を核として形成しています。



2 課題の持ち寄り

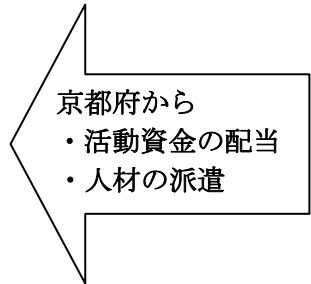
防犯をはじめとする安心安全についての課題を持ち寄り、意見交換や情報共有を行います。集積した情報を基にして、課題解決のための具体的活動を検討します。



3 具体的活動の実践

(取組の例)

- 登下校時の子ども見守り活動
- 青色防犯パトロール車による防犯パトロール
- 金融機関での「振り込め詐欺被害抑止啓発活動」
- 自宅等訪問による高齢者に対する防犯指導
- 「割れ窓理論」実践運動（落書き消し）の実施
- 地域安全情報紙の発行、配布
- 危険箇所との把握と地域安全マップの作成、配布
- 研修会（防犯・交通安全教室）の開催
- まちの街頭点灯活動、門灯点灯活動 等



(取組の状況)

ステーション合同パトロール
(伏見区桃山南地区)



年金支給日における振り込め詐欺被害防止啓発活動 (伏見区稲荷地区)



「割れ窓理論」実践運動
(八幡市)



自転車マナー・盗難防止啓発活動
(JR山科駅前)



地域安全マップづくり講習会
(左京区下鴨小)



ステーション会議の開催
(亀岡市大井町)

